



六小通信

令和4年11月2日
小平市立小平第六小学校
11月号
校長 屋代 弘一

みんなの笑顔が輝く学校～伝え合う楽しさや分かる喜び～

【学校教育目標】 ○元気でじょうぶな子 ○よく考えてやりぬく子 ○仲よくできる子 ○進んで働く子

六小オリンピック(運動会)での成長！

副校長 廣瀬 美香

過ごしやすい気候となり、勉強にも運動にも集中してがんばっている六小の子供たちです。先月には、六小オリンピック(運動会)を開催することができました。子供にとって、学校は社会です。家庭での姿とはちょっと違う力を発揮している場面を見せたのではないかと思います。子供たちの代表として6年生の感想を紹介します。

○なかなかできるようにならなかった立ちブリッジですが、夏休みから毎日ストレッチをしたり、支えてもらったりしてコツコツ練習しました。できるようになったときは本当にうれしかったです。本番が一番良い演技ができたと思います。

○応援団では、あんなにたくさんの人がいる中で前に立って大声を出したのは初めてだったので、すごく緊張したけど、みんなの力になれたかもと思うと、良い思い出になりました。

○係の仕事をしながら低学年の子供たちの様子を見ていて、いっしょうけんめいやっているのがうれしかったです。

○肩倒立ができなかったのがとてもよかったです。ただ最後まで明るい顔で真剣にできて、とても良かったと思います。楽しく、明るく、真剣に、最後まであきらめない心を忘れないようにして、これからの生活にいかしていきたいです。

自分もっている力では少し難しい課題にもチャレンジする力
練習方法を考える力
あきらめずにコツコツと積み重ねていく力
自分のためだけではなく、周りの人のために力を使う喜び
異学年の交流の中で、自分の成長を再確認する喜び
大きな舞台で自分を表現していく緊張感
自分についての力が将来への自信になること



「六小オリンピック(運動会)」を通して、このような気持ちを味わい、力をつけることができたことを大変うれしく思っています。小さい学年の子供たちも、こんな高学年の姿を目標にしていきたいと思えます。

6年生と5年生が演技した曲「私は最強」のその歌詞の部分で表現した一人ひとりの表情、力強いポーズに感動しました。これからの人生の中で困難なことがあったときにも、仲間と一緒にこの曲で演技したことを思い出して、乗り越えていってほしい。そんな願いをもちました。

11月の生活目標 「ありがとうと言おう」 生活保健部

言葉はコミュニケーションにおいて必要不可欠であり、「言葉遣いはその人自身を表す」といいます。言葉一つで、人間関係がよりよくなったり、ぎこちなくなったりすることや、互いの印象が良くなったり悪くなったりすることもあります。時と場合に応じて、相手の気持ちを考えながら適切な言葉で話をするのが大切です。

「ありがとう」という言葉には、相手だけではなく自分のことも幸せにする力があると思います。「ありがとう」と言われるだけで、心が救われることもあります。「ありがとう」その一言に、心を込めて感謝を伝えられる児童になってほしいと思っています。

11月の教育相談日 4日(金) 11日(金) 18日(金) 25日(金)

11月は「ふれあい月間」

東京都では、6月・11月・2月を「ふれあい月間」と称し、「いじめ」「自殺」「暴力行為」「不登校」等の未然防止やその対応についての取組に力を入れています。

子供たちの集団生活の中では、友達とのトラブルが毎日のように起こっています。その中で他人との距離の取り方や言葉の使い方を学んでいる段階です。また、困った時にSOSを出すことも、生きていく上で大切な力となります。

学校だけでなく、家庭で気づけること、地域活動の中で見られる様子も全てその子の姿です。お互いに情報交換をしながら子供たちを見守っていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

生活指導主幹 前田澄子

六小の特別支援教育
一人一人輝く笑顔のために



自律神経を整えること

近年自律神経の不調による心身症状を訴える子供達が増えていると言われています。そもそも、**自律神経の基地である脳の視床下部はストレスを感じる基地でもあります。**

○自律神経は、体内の臓器の動きをコントロールするだけではなく、**呼吸や睡眠や食欲、そしてホルモンなど様々な機能と連携・連動**しています。

今はコロナ禍ということもあり、大人も子どもも高いストレスにさらされている状態です。そして、視床下部がストレスを感じても、当の本人はそれを自覚せずに頑張り続けてしまうこともしばしばあるのです。すると、影響を受けた自律神経の動きが少しずつ乱れていき、**気付いたときには大きな心身の不調が表れてしまうこととなります。**

○特に子どもたちは自分の**ストレス量を正確に感知できないことも多く、突然激しく表れたように見える**こともあります。

○大切なことは、初期のうちに子どもが**ストレスを感じていることに気づくこと。**

→ちょっとした変化(食欲が落ちた、爪かみなどの癖が増えた、睡眠が浅くなったなど)にいち早く気付いたら、**ストレスをそれ以上ためないような生活を**しましょう。

→人間関係などの問題がある場合、**環境調整**をすることで落ち着く場合もあります。

→体を動かして屋外活動を取り入れることも有効です。**ストレスに気づき、それをためない生活を**することが大事です。

(参考文献 「発達教育」)

11月の行事予定

1	火	B時程 社会科見学(5年) しいたけ出前授業(3年)
2	水	集会(集会委) 読書旬間始(~11/16)
3	木	文化の日
4	金	B時程 算数タイム セーフティ教室(1・2年) 社会科見学(3年)
5	土	
6	日	
7	月	D時程 4時間授業(全) 就学時健診
8	火	B時程 集会(ソスロンPR) 避難訓練(不審者対応) ソスロン①
9	水	4時間授業(全) 集会(給食委) ソスロン②
10	木	お話会 ソスロン③ セーフティ教室(3・4年) 委員会(代表)
11	金	安全指導 たてわり交流会(中休み) 手話体験学習(4年)
12	土	ウインドバンド アンサンブル発表会
13	日	
14	月	朝会
15	火	B時程 遠足(4年) 放課後補習教室
16	水	4時間授業(全) 短縄集会(運動委) 歯科検診(4~6年) 読書旬間終
17	木	読書タイム 脊柱側弯検診(5年) クラブ
18	金	
19	土	JAお米販売(5年)
20	日	小平市少年少女マラソン大会
21	月	朝会 短縄週間始(~11/30)
22	火	委員会
23	水	勤労感謝の日
24	木	5時間授業(全)
25	金	4時間授業(全 ※各学年1学級は5時間授業) 給食指導 研究発表会
26	土	
27	日	
28	月	B時程 朝会 保護者会(1・2・3年)
29	火	
30	水	集会(感謝集会全体練習) 歯科検診(1~3年) 短縄週間終
1	木	読書タイム 知的障害理解教育(4年) 委員会(代表)
2	金	B時程 5時間授業(4~6年) 安全指導 ダンスロン① 保護者会(4・5・6年)

<ワクチン接種に係る学校の指導について>

学校の教育活動においては、児童に、新型コロナワクチンの接種を受ける又は受けないことによって、差別や偏見、いじめにつながるよう指導しています。

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。接種はあくまでも本人及び保護者の意思で受けていただくものです。身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人がいること、また、その判断は尊重されるべきであることについて、御理解いただきますようお願いいたします。

お困りのことがございましたら、学級担任やスクールカウンセラー、小平市教育相談室(042-343-9411)に御相談ください。